

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 27 2021年9月21日 JR東労組

乗務員の業務等の見直しについて どのような影響があるの？



先日、「乗務員等の業務見直しについて」会社より提案を受けました。(詳細は業務部速報49、50号を参照してください)

会社は「これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を実現するために、安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直しを行う」としています。

乗務員職場ではどのような影響があるのでしょうか？

事例①早目出場見直し

現在、乗務員職場では列車到着前の3分前までに乗継箇所に出場することが定められています。これを到着前までに変更することが提案されています。以下の想定で計算すると...



1 徹8列車乗務×早目出場3分=24分

事例②起床点呼後における付加時間の一部見直し

起床点呼後に業務指示のない5分間の労働時間があり、付加時間として計上しています。この5分間を削除することが提案されています。



1 徹=5分

1 徹で30分前後の労働時間がカット!その影響で乗務効率がアップ!?

矢継ぎ早に提案される施策の目的とは？

現在、JR 東労組は「現業機関における柔軟な働き方の実現について」の交渉を行っています。また、「グループ会社における副業について」が7月から実施されています。

今回の施策も合わせて、各系統の専門性・特殊性の希薄化や、労働密度の強化、そして手当の減少で賃金が足りない人は副業で自ら補填する、ということが目指されているのではないのでしょうか？各種施策について議論を深め、安全・健康・ゆとり・働きがい担保できる施策に向けてたたかいをつくり出しましょう！

**社友会では労働条件を守るための団体交渉ができません！
JR東労組に結集し、働きやすい職場に向けて議論しよう！**